

I. 巻頭言

『東北大学埋蔵文化財調査室年次報告』2015を刊行いたします。

東北大学埋蔵文化財調査室は、施設整備などに先立つ、構内遺跡の記録保存のための調査と、それに関連する業務を担当する、東北大学の特定事業組織です。埋蔵文化財調査室では、『東北大学埋蔵文化財調査室調査報告』と『東北大学埋蔵文化財調査室年次報告』という、二種類の報告書を刊行しています。

施設整備などに伴う記録保存のための本調査については、その発掘調査報告書を、『東北大学埋蔵文化財調査室調査報告』というシリーズ名で、調査ごとに刊行しています。『東北大学埋蔵文化財調査室年次報告』は、埋蔵文化財調査室の事業概要を迅速に報告するという目的のために、年度ごとに報告しています。

本年次報告では、埋蔵文化財調査室が2015年度に実施した埋蔵文化財調査の概要、および調査室が実施したその他の事業について概要をとりまとめて報告いたします。川内北地区では、前年度より引き続き地下鉄東西線川内駅前整備事業に伴う本調査がありました。また、青葉山地区でも、地下鉄東西線青葉山駅前整備事業に伴う本調査を実施しています。

2011年3月の東日本大震災以降、震災復旧事業あるいは震災復興に関わる事業に伴う調査が続いてきました。そして、2015年度は震災のため遅れていた地下鉄事業関連の発掘調査を実施しておりました。そのため埋蔵文化財調査室は、その後の整理作業を含め、これまでに無い膨大な業務量をこなす必要にせまられております。幸い、学内外の関係機関や関係者の多大なご協力を得て、滞りなく事業を進めることができております。ここに厚くお礼申しあげるとともに、今後ご支援とご協力をお願いいたします。

埋蔵文化財調査室長 藤澤 敦